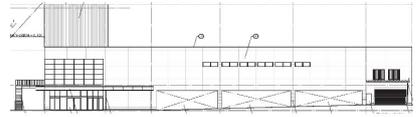


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)笹丘商業施設	階数	地上3F
建設地	福岡県福岡市中央区笹丘1丁目190番2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	615 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年4月21日
敷地面積	4,189 m ²	作成者	池邊 和博
建築面積	2,879 m ²	確認日	2023年4月24日
延床面積	5,651 m ²	確認者	池邊 和博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	建築主が求める諸条件を満たし、法規制を遵守することを前提に計画を進めた。 Q1について、居住者の快適性に可能な限りの配慮を行うとともに対応性を高め長期使用できる躯体性能となるよう配慮。 LR1については省エネルギー性向上となるよう機器を選定した。	その他 特になし
Q1 室内環境	最低限の性能を満たし、空気質環境に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 1階の大部分をピロティ駐車場とし、敷地内の暑熱環境を緩和。 空調設備を屋上へ設置することにより、設備に伴う排熱を高い位置から放出するよう配慮した。
LR1 エネルギー	省エネルギー性能の高い設備を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用を回避し、大気汚染に配慮。 敷地内に十分な駐輪場・駐車場を確保し、周辺への影響低減に努めた。
Q2 サービス性能	売場の天井高を高く設計することや、維持管理のしやすい仕上材とすることにより機能性に配慮しながらレイアウト変更に対応できるように階高や空間の自由度についてもゆとりをもたせた。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器や自動水栓機能を有する手洗い器を採用するほか、グリーン購入法に該当する部材を採用することにより限りある資源に配慮。 消火剤・断熱材にはフロン・ハロンの使用を回避した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される